



天理の 1970年ものがたり

皆さま、新年あけましておめでとうございます。今年4月、いよいよ大阪・関西万博（EXPO2025）が開催されます。皆さまの周りでは、次第に熱気を帯びてきているところでしょうか。みんなで盛り上げていきたいですね。さて、天理市の英語キャッチコピーは『Time Travel City』。時空を越えた旅ができるまちです。ということで、2025年スタートの今回は、今から55年前のアジア初かつ日本で初めて万国博覧会が開催された「1970年」にスポットを当て、当時の天理市の出来事から今日をご紹介します。

◆掲載情報に関するお問い合わせ◆

天理市産業振興課商工観光係(天理市産業振興館)
受付時間:平日8:30~17:15
TEL:0743-63-1242
[天理市観光協会] <https://kanko-tenri.jp>

シャープ総合開発センターの操業開始(1970年3月)

天理市北部の丘陵地帯にあるシャープの中核拠点が、万博開催の1970年に操業を開始しました。1968年、地元企業として検討していた大阪万博(千里丘陵)へのパビリオン出展の取り止めに方向づけ、「貴重な資金は、長期的な利用が可能な施設に振り向けるべき」との考えのもと、天理市の丘陵地へ総合開発センターの建設に着手。この決定は、後に「千里より天理」の英断と呼ばれることとなりました。事業所内には、「シャープミュージアム」もあり、社名の由来となったシャープペンシルをはじめ、日本初のテレビなど貴重な史料や生物模倣学の家電製品への応用例、家電製品のリサイクル技術などを紹介しています。



名阪国道・天理東インターチェンジの併用開始(1970年3月)

名古屋～大阪間の幹線道路である名阪国道(一般国道25号)は、1965年に開通しました。供用開始まで1000日という目標が示されたことから「千日道路」という異名がありました。その後、1970年に全線4車線で開通するとともに、天理東インターチェンジも供用開始となりました。この名阪国道は、西名阪自動車道、東名阪自動車道および伊勢自動車道などと直結し、全線が道路や鉄道と立体交差してインターチェンジで接続されている自動車専用道路で、今も近畿圏内外の人の移動や物流のための重要な道路となっています。

天理市2番目の姉妹都市提携(1970年4月)

1970年4月、天理市2番目の姉妹都市として、ブラジル連邦共和国パウルー市と姉妹都市提携が結ばれました。(現在、天理市の姉妹都市は、チリ共和国ラ・セレナ市(1966年10月)、大韓民国瑞山市(1991年11月)と合わせて3市となっています。)市庁舎の玄関近くには、モアイ像が建っています。このモアイ像は、かつて、1970年の万博のチリ館玄関前に置かれていたもので、万博終了後、チリ大使館で保管されていました。その後、1985年に、奈良県での「わかさ国体」の開催と現市庁舎の完成を記念して、チリ共和国より寄贈されました。今も姉妹都市との友好の証しとして微笑んでいます。



天理市ごみ処理センターの完成(1970年12月)

1970年12月には、市民生活に無くてはならないごみ処理センターが市西部の国道24号線沿いに完成しました。そして今年(2025年)は、天理市、大和高田市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、広陵町、上牧町および河合町の10市町村が参画する山辺・県北西部広域環境衛生組合により、新広域ごみ処理施設が名阪国道天理東インターチェンジ近くで稼働します。奇しくも、前の万博の年に完成したごみ処理施設がその役割を終え、55年後の今回の万博の年に、新たな枠組みによる広域ごみ処理施設が稼働することになります。



大和青垣国定公園の指定(1970年12月)

1970年12月、日本最古の道とされる山の辺の道に沿う地域を中心に、春日山隣接地、柳生街道沿い、桜井市初瀬周辺を含めた奈良盆地東部の丘陵線(面積57.42km²)を保護・整備するために、この地域が「大和青垣国定公園」として指定されました。公園地域は、単に自然的、地形的な価値にとどまらず、古代大和の文化の残像を色濃くとどめている、自然環境と融合する歴史文化景観を形成する貴重な自然公園です。倭建命の国徳歌「やまとは国のまほろば たたなづく青垣 山隠れる やまとしよし」にちなんで名づけられたとも。



～ 祝！天理市は市制70周年を迎えました～

2024年度は、天理市制70周年の節目の年度に当たっています。1954年4月1日、山辺郡丹波市町と二階堂、朝和、福住の3村、添上郡櫛本町、磯城郡柳本町が合併して市制施行、天理教教会本部の所在地として、全国初の宗教団体名を冠した天理市が誕生しました。市の木は「いちよう」、市の花は「梅」です。市章は、天理の「天」の文字を主に6つの円をあらわして模倣化し、梅花を形づくっていて、6か町村の和の精神を尊ぶ緊密な連携発展の意義を表わしています。



■本ページのお問い合わせ先
近鉄ケーブルネットワーク株式会社
IT営業部
TEL:0743-75-5662
平日:9:00~17:45

◆編集後記◆
1月号は、1970年に天理市で起きた歴史的な出来事の特集しました。当時の社会的背景を振り返りながら、天理市が歩んできた道のりを感じていただける内容になっております。50年以上前の出来事が現在にどのように影響を与えているのか、興味深い視点を提供できれば幸いです。寒さが厳しい季節ですが、温かい気持ちでこの特集をお楽しみいただけることを願っています。本年も引き続き、地域の魅力をお届けしてまいりますので、よろしくお願いたします。